

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 33111

区分	事務事業	担当課	健康長寿課	作成日	H24.5.25
事業名	老人福祉一般管理費(ことぶき号の管理・運転に関する経費)	開始年度	H15	予算科目	3.1.4.1.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第3部 健康でゆとりとふれあいのまちづくり	章	第3章 ゆとりと生きがいのある高齢者施策の推進
節	第1節 生きがいづくりと社会参加の促進	基本施策	1 多様な活動への参加促進
取組みの基本方向		(1)寿大学や各種趣味の教室など高齢者のニーズに応じた生涯学習機能の充実をはかります。	
根拠法令等	ことぶき号使用基準		
目的 (誰・何を対象に、何のために)	次の者(町又は福祉関係団体)の行事実施の際の人員輸送手段の確保及び輸送費負担の軽減を行い、各団体の行事実施を容易にするため。 (1)町又は町老人クラブ連合会 (2)町単位老人クラブ (3)町身体障害者福祉協会 (4)町手をつなぐ育成会 (5)町遺族会 (6)町母子福祉会 (7)町民生委員児童委員協議会 (8)町社会福祉協議会		
内容・方法 (何を行っているのか)	・町福祉バスの無料貸出し(走行距離制限:1日100km以内、立科町は除く) ・町福祉バスの管理 ・町福祉バスの運転委託		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『生きがいづくりと社会参加の促進』について「満足」と感じる住民の割合(%)		36.9		42.0		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	ことぶき号の運行回数(回)	増	運行回数により、町福祉バスの需要を測る指標となる。	計画値		200	200	200
				実績値	188	188	203	
				達成度※自動計算		94.0	101.5	
活動指標	事業費(管理・運行コスト)を活動指標として設定。重複するため未設定。			計画値				
				実績値				
				達成度※自動計算				

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度			基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)事業費(円)			3,339,785	3,339,785	3,525,285	3,549,000
(B)概算職員数(人)			0.025	0.025	0.025	0.025
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算			207,500	207,500	207,500	207,500
(D) = (A) + (C) 総事業費(円)※自動計算			3,547,285	3,547,285	3,732,785	3,756,500
単位当たりコスト※自動計算			18,868.5	18,868.5	18,388.1	
財源内訳 (円)	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源※自動計算		3,547,285	3,547,285	3,732,785	3,756,500

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か 必需性 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか	高 高	A
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している 基準年度と比較して成果が向上している	○ ○	A
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い C 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い 費用が増加し、成果も低下している	向上率 成果 107.98% 縮減率 費用 105.23%	B
総合評価 ※自動判定		良好に実施できている	

5. 特記事項

ことぶき号の購入価格(平成15年6月17日購入):14,490,000円
ことぶき号の耐用年数:10-15年

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由	別紙(H23. 11. 2付試算)のとおり、ことぶき号の耐用年数がまだ経過していないこと、現行の『町所有の福祉バス+運転のみ委託』の方法が最もコストが低いことを鑑み、耐用年数までは現行方法で、ことぶき号の管理運行を実施する。		
今後の方向性	耐用年数経過後の町福祉バスの管理・運行について、現行の『町所有の福祉バス+運転のみ委託』以外の方法について研究し、安全管理面及びコスト面で最良の方式を選択する必要がある。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	ただし、事故発生時の対応の面から現在の運行の在り方を見直すこと。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等			

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

耐用年数経過後の町福祉バスの管理・運行について、現行の『町所有の福祉バス+運転のみ委託』以外の方法について研究し、安全管理面及びコスト面で最良の方式を検討していく。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由・改善方針	当面は現状のまま事業を継続しつつ、所管課の対応案のとおり、町福祉バスの管理・運行について検討を行うものとする。		